

11月7日 全校朝会

初めに元気よく朝の挨拶をしましょう。おはようございます！

今日、11月7日は冬至です。暦の上ではもう冬になりました。朝晩はずいぶん寒くなってきましたよね。朝、登校するときにポケットに手を入れている人もいます。しかし、ポケットに手を入れると、転んだときにとっさに手が出ませんから、顔面を打ったり、歯を折ったりしてしまいます。ポケットに手を入れるのは止めましょう。どうしても寒いんだという人は、手袋をしてきてくださいね。

さて、11月はふれあい月間です。6月のふれあい月間のときに、上ノ原小学校では「3つのい」を許しませんという話をしました。「いじめ、いじわる、いやがらせ」でしたよね。しかし、まだまだ「3つのい」があるようですので、今日は一緒に考えほしいと思います。

ここに3人の子供がいます。「Aさん」「Bさん」「Cさん」です。そこに、同じクラスの「Dさん」がやってきて、「Aさん」に「ばか」と言いました。次の日「Dさん」は、「Bさん」に「ばか、ばか」と言いました。そしてその次の日「Dさん」は、「Cさん」に「ばか、ばか、ばか」と言いました。さて、この中で一番傷ついた人は誰だと思いますか？

やはり、3回も「ばか」と言われた「Cさん」という人が多いようです。実は、正解は「Dさん」なのです。人間の「脳」はすごいのですが、苦手なこともあって、「ばか」と聞いた自分の脳は、誰のことを言っているのかを理解することができないようなのです。つまり、「Dさん」は、人に向かって「ばか」と言ったつもりなのですが、「Dさん」の脳は、自分が「ばか」と言われたと誤ってしまい、傷ついてしまうのです。ですから、この4人の中では、合計で6回も「ばか」と言われた「Dさん」が一番傷ついた、ということなのです。人のことをいじめていたつもりが、実は自分のことをいじめていたんだなんて、なんだか怖いですね。

さらに、もう一つ怖いのは、人間は、人の悪口を言ったときや、いじわるをしたときに脳の中で「ドーパミン」というのが出て、気分がよくなるのだそうです。「人の悪口を思いっきり言ったら、なんだかすっきりした」という経験がある人もいないですか。ですが、そのときはすっきりした気持ちになったつもりでも、じつは自分が傷付いているのです。なんだか、たばこやお酒とも似ています。気分がよくなると思って、たくさん吸ったり飲んだりすればするほど、体には悪いのですからね。悪口を言うのはストレス発散にはならず、逆にストレスを増やしてしまうのです。皆さんも気を付けましょうね。

今日は、11月がふれあい月間ですので、悪口を言って一番傷つくのは誰かという話をしました。みんなで「3つのい」をなくして、上ノ原小学校をごきげんな学校にしていきたいと思います。お話を終わります。

